

第27回 びんご多文化共生連続ワークショップ

日時：2026年2月14日(土) 13:30~16:30

場所：福山市立大学 小松安弘記念館 講義室 A・B

定員：70人 (定員を超えた場合は地元優先とさせていただきます。)

参加費：無料 (事前申込が必要です。) 申込締切：2月12日(木)

難民と生きる — 現場からの問いかけ

世界で増え続ける難民。その問題は、遠い国の出来事として語られがちです。しかし、難民は「数字」や「ニュース」ではなく、私たちと同じ日常を生きる一人ひとりの人間でもあります。本講演「難民と生きる — 現場からの問いかけ」では、2004年から難民問題に関わり続けてきた宗田勝也さんが、日本で暮らすミャンマー難民、タイの難民キャンプでの実践を通して見えてきた現実を語ります。支援する側・される側という関係を超え、「共に生きる」とは何かを、現場の経験から問い直します。難民問題を“知る”だけでなく、私たち自身の生き方や社会との関わり方を見つめ直す時間となるでしょう。

そうだ かつや
講師：宗田 勝也さん

一般社団法人難民ナウ 代表理事、
特定非営利活動法人 PEACE 事務局長、龍谷大学等非常勤講師

2004年から難民問題に取り組む。難民問題を天気予報のように伝える「難民ナウ」の活動を通して、日本で暮らすミャンマーの難民と出会い、現在はミャンマー難民の自助組織である「PEACE」でタイの難民キャンプで事業を行っている。

著書

『誰もが難民になりうる時代に—福島とつながる京都発コミュニティラジオの問いかけ』

(現代企画室、2013)



◆福山市立大学都市経営学部 上別府 隆男教授
テーマ「タイにおけるミャンマー人移民・難民の教育機会」

■申込方法：右のQRコードを読み取ると、
申込みのページが表示されます。
つぎのURLからでも、申込みの
ページにつながります。

<https://forms.gle/hmU4ygt5AXjs9CVY7>



共 催：福山市立大学地域連携センター
びんご多文化共生研究会
びんご日本語多言語サポートセンター「びると」

後 援：中国新聞備後本社、エフエムふくやま

